

令和7年度

愛知県立農業大学校



学校案内

農業をささえる担い手を育成しています



大 学 校 の 概 要

本校は、農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設として農業後継者や農業の担い手を養成する県立の施設です。

昭和9年追進農場に端を発し、追進営農大学校、農業技術大学校との統合等、時代とともに変遷し現在に至り、県内で活躍している多数の農業経営者並びに農業技術者を輩出してきました。平成20年度に、教育部農学科は、学校教育法に基づく「専修学校」になりました。

目 的

農業後継者及び農業の担い手等に対し農業の実践教育及び研修を行い、本県農業の振興に寄与する。

目 標

- ① 農業者としての自信と誇りの醸成
- ② 農業に関する知識・技術・技能の習得
- ③ 経営管理能力の養成
- ④ 洞察力・応用力・創造力及び協調性の養成

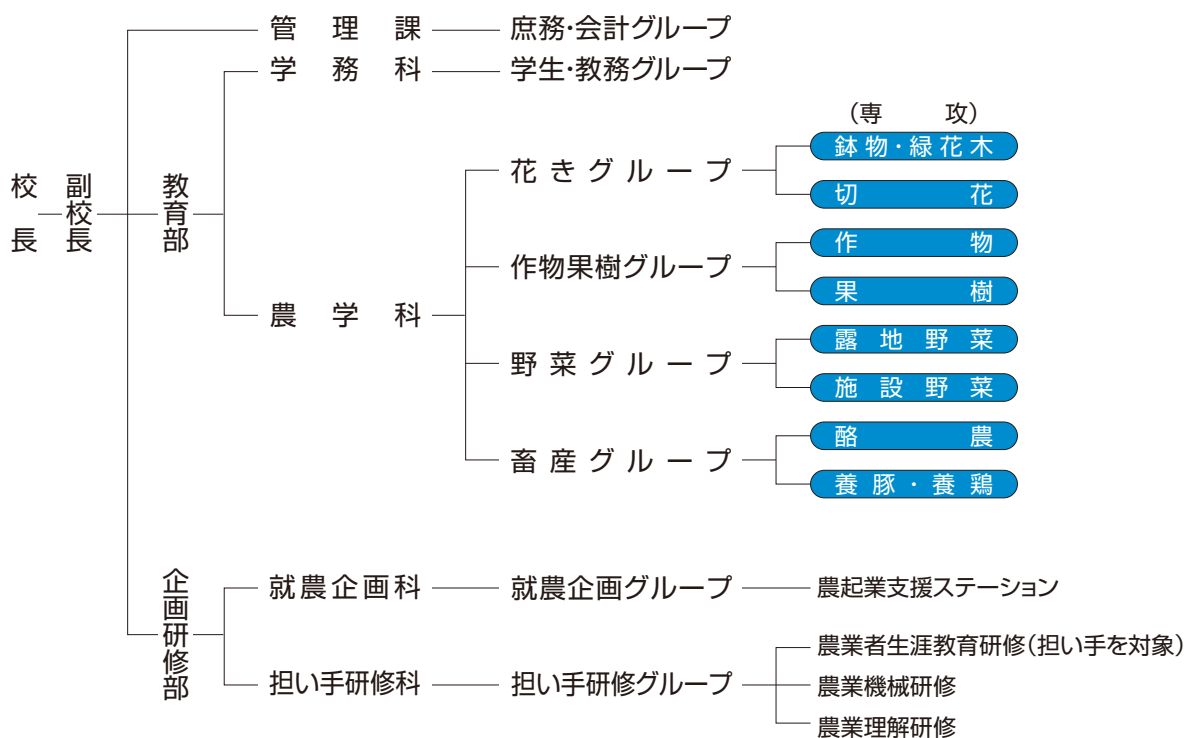
教育部

農学科 ● 高等学校若しくは中等教育学校卒業者を対象に2年間の全寮制による実践教育を基本として、
【総定員200名】 一般教養や農業の基礎的・専門的教育また先進農家への派遣実習等を通して農業の担い手を養成します。**学校教育法に基づく専修学校で、卒業生には「専門士（農業専門課程）」の称号が付与されます。**

企画研修部

農業者には発展段階に合わせた知識・技術・技能を習得するための研修、県民には食料・農業に理解と関心を深めるための研修を行います。

組 織



職員数

校長	副校長	管理課	教育部		企画研修部		計
			学務科	農学科	就農企画科	担い手研修科	
1	1	7 (2)	11 (6)	24 (5)	4	10 (6)	58 (19)

※教育部長は学務科の人員に含まれます。 ※()内数字は再任用(短時間)・非常勤職員数で内数です。

施設設備の概要

本学は、水田(3.3ha)・果樹園(2.5ha)・普通畑(8.6ha)の実習ほ場、充実した実験実習の施設・設備及び公安委員会指定運転試験コースを備えています。



中央教育棟



情報処理研修室



図書室



大講義室



教室棟



体育館



鉢物・緑花木温室



切花温室



露地野菜ほ場



施設野菜温室



作物ほ場



果樹園



パーラー施設(フリースタイル牛舎)



システム豚舎



鶏卵出荷調整



和耕寮



農業機械施設



トラクター運転コース

教育部農学科

特徴

- 教育内容は主に農業経営者を目指した一般教養、専門科目の履修を行います。
- 専攻別に分かれ、少人数単位の実習を主体とした実践教育を行っています。
- 2年間の全寮制です。なお、平成27年度に新寮が完成しました。
- 先進農家への派遣実習を実施しています。
- 1人1課題を設定しプロジェクト学習に取り組んでいます。
- オーストラリアにて7日間の海外派遣研修(ファームステイ)を実施しています。

行事・学習等

「農と食」の担い手にふさわしい知識と技術の養成を目指したカリキュラムが組まれています。



専攻・学習等

実践力を養うための多種多様な実験実習、演習、実習科目をそろえています。

●鉢物・緑花木専攻

温室4棟、遮光ハウス1棟、露地ほ場などで、鉢花・観葉植物・洋ラン・緑花木・花壇苗等、多くの品目を栽培しています。

温室管理、灌水、施肥、病害虫防除等の栽培管理全般を学習するほか、市場出荷や直売を行うことで、販売方法やマーケティングについても学んでいます。

1年生の2学期には、鉢花・観葉・洋ラン・緑花木の部門に分かれ、少人数体制による細やかな指導の下で、実践的な知識や技術を習得します。

2年生になると、担当する部門で責任を持って栽培管理に取り組みながら、プロジェクト学習を行います。近年のテーマは、省力化、低コスト化、商品価値の向上、新商品開発など多岐にわたっています。



●切花専攻

4棟の温室や繁殖室、露地ほ場で、キクを中心に、バラ、カーネーション、ストック、ヒマワリなど、県内で生産の多い品目を栽培しています。一部の施設には、LED補光や炭酸ガス施用、高圧ミスト、ヒートポンプ暖房などを導入しています。

1年生の9月までは、すべての栽培品目について栽培管理を学び、10月からはキク、バラ及び洋花の3部門に分かれ、責任をもって栽培管理に取り組みます。生産状況を観察しつつ、必要な作業を学生と職員がともに考えながら学習を進めていきます。

1年生の後半からは、プロジェクト学習に取り組みます。テーマは栽培方法、品種比較、切花の染色方法の検討など様々ですが、いずれも単なる調査ではなく、品質向上やコスト低減、商品性向上など実際の農業経営の改善につながる課題を取り上げます。



●作物専攻

1haの大区画水田など大小9区画、計3.3haの水田ほ場で大型機械を利用し、水稲、小麦、大豆の栽培に取り組んでいます。また、育苗施設や乾燥調製施設を利用し、育苗から生産物の調製まで実習で行います。さらに、収穫物を利用した味噌や五平餅などの加工実習も行っています。

1年生では水稲栽培や機械操作の基本知識を身に付ける実習を進めています。

1年生の後半からプロジェクト学習が始まります。本校では農業総合試験場が開発した新品種や新技術をいち早く導入しており、これを題材にした新品種の栽培法、不耕起V溝直播栽培や稲WCSに関する課題、化学農薬・化学肥料を使用しない栽培など付加価値の高い生産方法等に取り組んでいます。また、ICTを用いた営農支援システムを活用した農業経営手法についての学習も行っています。



●果樹専攻

果樹専攻は約2.5haのほ場で、ブドウ、ナシ、モモ、カキ、ハウスミカン、ハウスイチジク、ブルーベリー等を栽培しています。2年生を中心に構成される少人数の6つの品目担当(班)が1年間の目標や課題を掲げ、各品目ごとに栽培、販売、加工など主体的に取り組めます。この各品目班を一つの経営体と見立てた模擬経営と農大産品のブランド化に向け、学生による様々なアプローチが試みられています。1年生は先輩の取り組みや派遣実習を通じ技術や考え方を学び、2年生は培った力で判断し周りに指示を出し各品目班(専攻)を回していきます。

また、県内果樹農家への就農を希望する学生が新規就農や雇用就農を目指せるよう、経営感覚を培う実践的な実習、師弟関係を築く農家派遣実習、地域への入り口となる産地との連携等を支援しています。



教育部農学科

専攻・学習等

●露地野菜専攻

露地畑1.5haでキャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、スイートコーンを中心に県内の主要野菜に加え、新品目も取り入れて約40品目程度を栽培しています。また、イチゴは本専攻で取り組んでおり、高設栽培においてICTを活用した施設内環境のモニタリングを行っています。

露地野菜の実習は、天候に左右され、作業時間が長く大変ですが、農業機械を駆使して2年生と1年生が協力して取り組んでいます。

プロジェクト学習は、2年間で1人2課題を実施します。学生自身が品目と研究テーマを決めて試験設計及び栽培計画を立て、播種から収穫・調製まで責任を持って管理しています。学生は実習やプロジェクト学習を通して、農作業機械の操作方法や実践的な栽培技術、経営管理能力を習得します。

今年度のプロジェクト学習のテーマは、「ハクサイの定植深さが生育と収量に与える影響」「イチゴの葉数が収量と品質に与える影響」などです。



園芸農産課程

●施設野菜専攻

本専攻は11棟ある温室で、大玉トマトやミニトマト、ナス、キュウリ、温室メロンを中心に栽培しています。土耕栽培だけでなく、養液土耕栽培、水耕栽培、ヤシ殻培地栽培、袋培地栽培など、県内の生産現場で普及している栽培システムを導入しています。また、植物の生育に合わせて、天窓や側窓、カーテン、炭酸ガス発生機、暖房機などを制御し、ハウス内を最適な環境にできる統合環境制御装置を導入している温室もあります。学生は、栽培技術だけでなく、様々な環境制御装置の使い方を学びます。

本専攻では1年生の1学期は主要栽培品目の基礎的な栽培技術について幅広く学びます。7月頃から促成栽培の播種が始まるため、この時期から2年生の7月頃までプロジェクト学習を行い、1年間かけてより専門的な実践技術を習得します。プロジェクト学習は学生自分が品目や研究テーマを決めて、圃場の準備から播種、定植、収穫、出荷調整など、農産物生産に関する管理作業を責任持って行います。



●酪農専攻

4つの牛舎でホルスタイン種の搾乳牛約20頭、育成牛約20頭、肥育牛約10頭および繁殖和牛5頭を飼育しています。また、自給飼料として牧草やトウモロコシ等を生産しています。

学生は、酪農を中心に肥育牛を含めた飼養管理技術を習得します。在籍する学生のうち約6割を女性が占めます。ほとんどが非農家出身者であり、多くの学生がここで初めて本格的な酪農作業を経験します。

初めて牛に触れる新入生も、2年生の助言を受けながら搾乳や給餌、除糞など基本的な管理作業を習得し、牛の扱い方に慣れていきます。酪農家や外部講師を招いて講義を受けたり、農協などの関係機関や団体の支援を得て牛の共進会に出品する技術を磨きます。2年生はより高度な技術習得とともにプロジェクト学習を行います。テーマは搾乳牛や子牛の飼養管理、繁殖、環境問題など多岐にわたります。



畜産課程

●養豚・養鶏専攻

専攻では、繁殖豚20頭、肥育豚150頭、採卵鶏2,400羽を飼育しています。1年生の4月は養豚、養鶏の両方を学びますが、5月には本人の希望に沿って、豚と鶏のコースに分かれ、それぞれの飼養管理を習得していきます。

養豚コースでは、県の系統豚であるアイリスを用いて豚の交配から肉豚出荷に至るまでに必要な技術と知識を学んでいます。また、深部注入人工授精やホルモン剤による発情の同期化など、新しい技術も積極的に取り入れています。

養鶏コースでは、開放・ウインドウレスの2種類の成鶏舎で名古屋コーチンを主体とした採卵鶏の飼育管理と、ウインドウレス育雛舎で初生雛からの育成管理を学びます。また、毎週水曜日の実習販売では、鶏卵の直売を通して販売管理を経験し消費者のニーズに触れることができます。



年間教育計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	入学	学習期間			夏休	学習期間	派遣実習		学習期間	冬休	学習期間	春休
2年	春休	学習期間			夏休		学習期間		冬休	総括学習	海外派遣研修	卒業

教育科目 ● 講義(17.5%) 演習・実験(26.3%) 実習(56.2%)

教養科目 ● 暮らしと経済 暮らしと法律I 自然科学 生物学実験 実践英語 体育

専門科目 ● 農業経営I 経営管理演習 農業機械実習 土壌と施肥設計 飼料・環境保全
 農業政策I 農業基礎演習 GAP・環境保全と有機農業 家畜栄養 海外派遣研修
 農業簿記 農業機械利用 農業機械利用 情報処理演習 植物生理I・II 家畜繁殖 卒業論文
 土壌肥料学 経営管理 育種と採種 病害虫と防除計画 家畜生理 スマート農業技術

選択科目 ● 暮らしと法律II 農村生活環境 畜産学概論 資格取得講座(毒物劇物取扱者、危険物取扱者、ボイラー取扱者、大型特殊免許等)
 労働の科学 作物学概論 農業政策II
 健康と栄養科学 園芸学概論 文章表現 実用数学 農業時事

資格・免許 ● 在学中に取得することができる資格、免許
 毒物劇物取扱者 大型特殊・けん引免許(農耕車限定) 危険物取扱者 ボイラー取扱
 小型車両系建設機械 フォークリフト 刈払機 家畜人工授精師 日本農業技術検定

学費等(1年間)

入学金 5,650円(入学時のみ) ※令和6年度の金額です。

授業料 60,000円

寄宿舎使用料 32,400円

(左記の他に、教材費(海外派遣研修費用を含む)・光熱水費等として実費相当分(550,000円程度)及び寮での食事代が必要になります。)



先輩達からのメッセージ

柘植 大和さん[切花専攻]

僕の家は非農家ですが、自家消費のお米を作っていたり、僕が幼少期の頃に祖父母がガーベラを生産していたことがきっかけで、農業に興味を持つようになりました。

そんな僕が思う農大の魅力は、実習内容が充実していることです。僕は農業高校出身ですが、農大の設備や作業内容は高校と比べものにならないほどスケールが大きく、驚きました。とはいえ、実習について行けないほどではありません。また、授業の半分近くが実習であり、充実しているので楽しいです。主な作目は、キク、ストック、ヒマワリ、ケイトウ、ガーベラ、カーネーション、バラなどです。

また、9月頃からは38日間の派遣実習があり、実際に花を生産している農家さんのもとで学びます。作業環境が学校とは違い、学校とはまた違ったことが学べます。

充実した2年間にしてください!!



先輩達からのメッセージ

星 桜さん[作物専攻]

作物専攻では、米・小麦・大豆の栽培を行いながら技術を学んでいます。トラクター・田植え機・コンバインなどの大型機械を扱いながらスケールの大きい農業を学ぶことができます。作ったお米は水曜日の直売で販売しています。「おいしかった」というお客さんからの生の声はとても嬉しいです。1年生では一通りの作業を学び、2年生からはプロジェクト研究としてそれぞれが課題に取り組み、一人一つのは場を管理するため、とても責任重大ですが、やりがいを感じることができます。

また、作った農作物を加工演習で味噌や豆腐を作ったり、五平餅に加工して農大祭で販売するなど、六次産業化についても学んでいます。

農業や機械、料理が好きな人はオススメです!! 作物専攻で素敵な農大LIFEを送りましょう。

教育部農学科

卒業後の主な進路

- 就農 50%程度 (自営、雇用就農、将来予定含む)
- 就職 40%程度 ●進学、その他 10%程度
- 主な就農・就職先 (順不同、令和4～6年度実績、一部に研修を含む)

農業法人関係 ●	(株)中甲	(株)扶桑農産	(有)ゴトーアグリ	(株)ココトモファーム
	(農)逢妻	(株)矢合農園	(有)あぐりサービス	(有)ジャパン・アグリ・ベンチャー・ユニット
	(株)ドリームフィールド	(株)下村畜産	(株)太田商店	(有)環境テクシス
	(株)星川畜産	(株)ウイングブー	(株)マルミファーム	(株)アイナン産業
農協関係 ●	JAあいち経済連	JAあいち尾東	JAあいち知多	JA愛知西
	JAあいち中央	JA西三河	JAあいち三河	JAひまわり
	JA蒲郡市	JA愛知みなみ	JA豊橋	JA愛知東
	東海酪農農協連			
農業関連企業関係 ●	(株)東海近畿クボタ	ヤンマーアグリジャパン(株)	(株)中セキ関西中部	(株)ホームセンターアント
	クラギ(株)	(株)中神種苗店	(株)野崎採種場	(株)坪井花苑
	イノチオHD(株)	JA全農ミートフーズ(株)	豊明花き(株)	
青果物等流通関係 ●	(株)名港フラワーブリッジ	セントライ青果(株)	(株)ユニバーサル園芸社	
	公務員関係その他 ●			
	愛知県職員(農場員)	愛知県農林高等学校実習助手		
	愛知県一般職非常勤職員(畜産総合センター、東三河農業研究所)		(一財)日本穀物検定協会	
	(公財)豊橋みどりの協会			

●主な研修・進学先 (令和4～6年度実績)

- 研 修** ● 国内研修(農業法人 先進農家) 海外研修(アメリカ、スイス)
- 進 学** ● 4年制大学農学系学部3年次への編入(愛知大学 高知大学 静岡大学 弘前大学) 千葉県立農業大学校



先輩達からのメッセージ

金原 太一さん[施設野菜専攻]

「愛知県立農業大学校って最高!」私はこの大学に魅了されました。そんな私が思う農大の魅力を全力で伝えたいと思います。

私たちの施設野菜専攻では主にトマト、キュウリ、メロン、ナスなどをハウス栽培で育てています。生徒主体になって1から栽培するので責任もかかりますが、自分たちが試行錯誤して育てた野菜がうまく成育することや、毎週水曜日に農大である直売で育てたものが売れると最高に嬉しいです。他にも農大である体育祭では青春を、農大祭では大きな達成感を得ることは間違いないです。そして寮生活や部活動では他の専攻の仲間との交友関係を広げることや新たな経験を積むことができるかもしれません!

これを読んでいるあなたも農大で学んで、寮生活を過ごし、2年間「最高だ!」と思える農大生活を送りませんか?



先輩達からのメッセージ

片山 太智さん[酪農専攻]

僕は今、毎日がとても充実し幸せな時間を過ごすことができています。そんな僕が農業大学校の良さをお伝えします。

僕たち酪農専攻では搾乳や哺乳など任せられる管理が多く、一つ一つ自分たちで試行錯誤しながら、今よりも良い作業の仕方を仲間と一緒に考えて仲を深めたりして、毎日が勉強になっています。まだまだ未熟者なりに頑張っています!

そして、農業大学校は寮生活なので、毎日友達と一緒に過ごしたりすることができます。初めは友達とうまくやっていたりかなど心配なことも多々ありましたが、1週間も経てば慣れてきて楽しくなります!農業大学校で出会った友達は卒業後も繋がっていく大切な存在になると思います。

あなたも農業大学校に入学し、充実した2年間を過ごしてみようと思いますか?

海外派遣研修

農学科では、国際性を身につけ、グローバルな視野で農業を見る感覚を習得する目的で、2年次に1週間の海外派遣研修を実施しています。例年、オーストラリアでのファームステイを通して、現地での食生活や生活習慣、農作業等を体験します。専攻別視察では、現地の農家等を視察し、農業事情を学びます。

また、市場を見学する中で日本の市場との違いやマーケティングについても学びます。

初めて海外に行く学生も多く、通常ではできない経験や、ホストファミリーとの英会話を通して、自身で培ってきた語学力を試す良い機会ともなり、将来の就農・就職等において有意義な研修となります。



農家派遣実習

先進農家等の優れた知識・技術を体験させ、今後の勉学に役立たせる目的で、1年生時の9月中旬から10月下旬の約40日間にわたり農家への派遣実習を行います。

派遣実習は宿泊もしくは通学で研修を行い、農家生活を体験します。実践的な生産技術や経営方法、経営観に触れるとともに、多くの関係者と交流する機会を得て地域との関わりを知り、本校に在るだけではわからない農業を肌で感じ学ぶものです。また、農業について漠然としたイメージしか持っていない非農家学生が実際の農業経営に触れる事により、将来自分の進むべき道が農業か否か、またどんな経営に携わりたいのかを選択する、いわばインターンシップとしても位置付けています。

派遣実習に参加した学生からは、「大変ながらも貴重な体験をした」「学校では学べない知識技術を知った」の他、「コミュニケーション能力の大切さが身に染みてわかった」「自分の甘さを知り今後の自分を鍛え直したい」などの感想が寄せられています。



卒業生からのメッセージ

加古 翔佳さん[令和6年度卒業]

私は愛知県立農業大学校で過ごした2年間でとても充実し幸せな時間を送ることができました。

私は露地野菜専攻に所属していましたが専攻実習が一番好きな時間でした。

スイートコーンやキャベツ、イチゴなど多くの幅広い品目を栽培してきました。仲間と一緒に播種から栽培管理まで行った野菜を収穫・出荷することができたあの達成感は実際に体験した人にしか味わうことができないと思います。

また、寮生活では「おはよう」「おやすみ」といった会話が聞こえたり、友達と並んで歯磨きをしたり、まるで家族のように過ごしてきました。初めは不安な寮生活でしたが一週間もすれば慣れてきて金曜日、家に帰ると賑やかな寮が恋しくなるのです。

他にも水曜日にある直売や毎年大盛況な農大祭など魅力満載です。

農大に入学してこれからの農業を支えていく仲間になりませんか？



卒業生からのメッセージ

清水 一将さん[平成12年度卒業]

私は刈谷市で総飼養頭数300頭、年間1,500トンの生乳を生産する酪農家で、酪農教育ファームへの参画やインターンシップ、農大派遣実習の受け入れも行っていきます。

私の実家は酪農家でしたので、幼少期から牛に触れ合い、また、高校時代は様々なアルバイトも経験しましたが、高校卒業に際し、「祖父の代から続く家業を継ぎ、経営を活性化させたい。」という思いを抱き、農大への進学を決意しました。

最近では入学生のうち、非農家の学生が大半だと聞いていますが、農大では牛の繁殖から生乳の生産、飼料給与、糞尿処理、人工授精など基礎的な内容から専門的な内容まで学ぶことができます。特に、専攻実習では一連の管理を学生が受け身ではなく主体的に行うため、しっかりと知識や技術が身に付きます。

更に、農大で学ぶことにより、地元で農業や関連する仕事に携わるかけがえのない仲間とのつながりができます。

農大で学び、農業に関係する業界の仲間になりませんか。

清水さんは、令和5年度愛知農業賞(あいちアグリアワード)を受賞しています。

教育部農学科

学生寮での生活

農学科の学生は、全寮制による共同生活を送ります。学生寮は、平成28年1月に建て替え、「和耕寮」と名付けられました。全室個室で、各部屋にはエアコン、ベッド、学習机、クローゼット、Wi-Fiが設置されています。共同施設として、トイレは全て洗浄便座付きの洋式で、男女別の大きな浴場があります。食事は、寮に併設された食堂で休日以外の朝・昼・夜の三食をとることができます。この他にも友人と歓談できる共有スペースも設置しており、快適な生活を送ることができます。



農大祭

農業大学校最大の行事が農大祭です。地域の皆様との交流を図り、愛知県の農業の魅力を県民の皆様にご存知いただくことを目的に毎年12月の第1土曜日に開催しています。農大生が丹精込めて育てた自慢の農畜産物の販売や学生手作りの加工食品のバザー、農業大学校に関わる農業団体・企業の出展、農大キャンパスツアーなど、農業大学校を身近に感じて楽しんでいただける催しを行います。

令和7年度は12月6日(土)に開催します。

〔令和6年度の主な販売品目〕

花き：シクラメン、シンビジウム、ハボタン、キク、バラ
作物：コシヒカリ、あいちのかおり、ミルクQueen、もち米
果樹：ナシ、ブドウ、ジャム
野菜：キャベツ、ダイコン、レタス、トマト、ナス、キュウリ
鶏卵：名古屋コーチン、紅白ミックス等の各種鶏卵



クラブ活動

農業大学校では、学生生活を健全で有意義なものとするため、学生が組織するスポーツ・文化・教養等のクラブ活動を支援しています。

令和7年4月現在、次のクラブがあります。

【体育関係】

野球、テニス、陸上、フットサル、バレーボール、
バスケットボール、バドミントン、卓球

【文化関係】

茶道、軽音楽、写真、農業商人塾、ボードゲーム、手芸

また、東海近畿地区の9校の農業大学校生が一堂に会して行われる「東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会」では、クラブの部員が中心となって参加し、毎年優秀な成績を収めています。

令和6年度は滋賀県近江八幡市で開催され、野球、バレーボール、バドミントンにおいて団体優勝しました。

個人の部ではバドミントン女子ダブルスで優勝しました。



オープンキャンパス

農業大学校への理解を深めてもらうため、オープンキャンパスを開催します。

- 内容** ● 農業大学校の概要説明、校内見学及び受験相談
対象 ● 農業大学校への入学に関心のある方及び県民の皆様
開催日 ● 第1回 令和7年 6月 7日(土)
第2回 令和7年 6月21日(土)
第3回 令和7年 7月29日(火)
第4回 令和7年 8月 5日(火)
第5回 令和7年 8月26日(火)

問い合わせ ● 愛知県立農業大学校 教育部学務科 学生・教務グループ
(電話)0564-51-1602(ダイヤルイン)

※荒天等により、中止や変更する場合があります。事前にホームページで確認をお願いします。



参加者の感想・意見

- 質問コーナーでいろんな具体的な内容を聞くことができて良かった。
- わかりやすく話してくださったので、よく理解できた。
- 農大の学生が積極的に話をしてくれたため、入学したい気持ちが強くなった。ホームページでは見られない場所を見られたので、学校の雰囲気を知れてよかった。
- トラクターの講習や果物栽培を直接見ることができ大変勉強になった。学生の皆さんも丁寧に教えてもらい良かった。
- 在校生と一緒にツアー回ることができたので、実生活のことが聞けて参考になった。
- 高校であきらめていた資格も取得できると知り、うれしかった。
- 先輩方の意見や普段の生活を知れてよかった。校内見学の際も先生や先輩の説明を聞いて入学したい気持ちが強くなった。
- 学生がいきいきと生活している様子がわかり良かった。寮生活の様子も参考になった。本人は入学に前向きになっている。

企画研修部

特徴

- 農業者や新たに農業を目指す人を対象に、農業に関する知識・技術・技能を習得するための「農業者生涯教育研修」を実施します。
- トラクターなどの農業機械を安全・効率的に使用するための「農業機械研修」を実施します。
- 県民を対象に、食料・農業・農村に対する理解と関心を深めるための「農業理解研修」を実施します。
- 本校の施設を積極的に活用して多くの県民が参加できる農業とのふれあいの場づくりを進めます。
- 「農起業支援ステーション」では、県内全域の就農に関する情報提供や就農を希望する人を対象に、就農相談を行います。

農業者生涯教育研修

ニューファーマーズ研修

Uターン就農者、新規参入者を対象に、農業経営に必要な基礎知識・技能の修得を図ります。

農業者育成支援研修

新規就農希望者を対象に、就農に必要な基礎的な経営や技術に関する知識及び露地野菜栽培に関する技能の修得を図ります。

農業技術研修

新たに農業経営を開始したり農業法人等へ就職を希望する離職者等を対象に、約9か月間、農業に関する基礎知識・技術の修得を図ります。

あいち農業経営塾

優れた経営感覚を備えた農業者を育成するため、経営に関する高度な知識の修得を図ります。

緑の学園研修

農業理解と就農意欲高揚のため、教育機関と連携し地域の農業農村への理解を深めます。

経営管理研修

経営管理能力・分析能力・企画能力・危機管理能力等の向上を図るため、必要な知識・技術の習得を図ります。

生産高度化研修

野菜や畜産など生産部門別に新技術及び経営に関する知識の習得を図ります。

農産物利活用研修

農産物及び農産加工品のマーケティング等を学びます。

G A P 研修

農業経営の改善につながるGAP（農業生産工程管理）の取組を広く普及させるため、必要な知識の習得を図ります。

女性農業者支援研修

女性農業者を対象に、農業経営の向上に必要な知識の習得を図ります。



農業機械研修

道路交通法に従い、安全に農耕車を運転する免許を取得します。

大特免許研修

けん引免許研修

機械化営農に必要な技能・知識を習得します。

トラクター作業研修

労働安全衛生法に基づく資格を取得します。

フォークリフト研修

小型車両系建設機械研修

刈払機研修



大特免許研修



けん引免許研修



フォークリフト研修

農業理解研修

県民公開講座

県民を対象に、農業理解を深めるために実施します。

農業体験学習

児童、生徒等を対象に、体験による農業学習を行います。

農福連携支援研修

障害者就労施設等職員を対象に、野菜栽培基礎の習得を図ります。



県民公開講座



農業体験学習



農福連携支援研修

就農相談

農起業支援ステーション

県内の就農の一次相談窓口として、就農説明会の開催、個別相談を行います。

県内8か所の農業改良普及課内に設置されている「農起業支援センター」と連携して、新規就農希望者の就農相談や就農に関する情報提供等、円滑な就農に向けた支援を行います。

主な業務

- 定期的な就農説明会の開催
- 個別就農相談の実施(リモートまたは対面)
- 就農に関する各種情報の提供

など



就農説明会



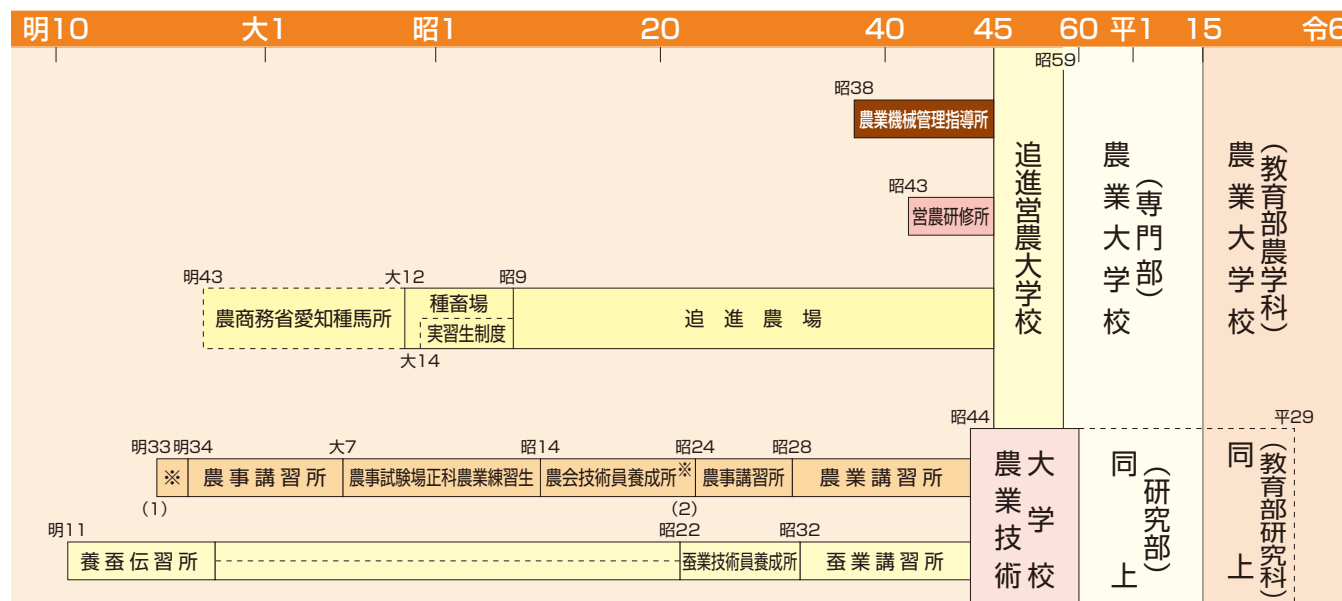
就農相談

用地・施設の概要

●総面積37.5ha

施設	棟数・面積等
中央教育棟 教室等 体育施設 学生寮・食堂 旧本館	1棟 2,500㎡ 教室棟1棟 2,313㎡、追進館1棟 490㎡、バイテク馴化温室1棟 214㎡ 体育館1棟 821㎡、運動場 11,880㎡ 和耕寮1棟 4,722㎡ 1棟 835㎡(西三河農林水産事務所農業改良普及課岡崎駐在室)
専攻別施設 鉢物・緑花木切作 果樹 露地野菜 酪農 養豚・養鶏	管理棟1棟 110㎡、温室4棟 1,240㎡、遮光施設 302㎡、資材棟1棟 231㎡、緑花木ほ場 3a 温室4棟 1,251㎡、繁殖室 255㎡、出荷調整室1室 117㎡、露地ほ場 2a 管理棟1棟 207㎡、作物収納庫 102㎡、水稻育苗室1棟 113㎡、水田 330a、 米乾燥調製学習施設1棟 63㎡ 管理棟1棟 211㎡、附属施設1棟 17㎡、ブドウ園 80a、ナシ園 40a、カキ園 98a、モモ園 30a、 ブドウハウス1棟 520㎡、ミカン・イチジクハウス1棟 648㎡、ブドウパイプハウス 1,214㎡ 管理棟1棟 134㎡、野菜畑 150a、イチゴハウス1棟 475㎡、育苗ハウス 475㎡ 管理棟1棟 151㎡、温室6棟 2,430㎡、育苗施設1棟 360㎡、ハウス4棟 1,440㎡、 ポイラー室1棟 24㎡ 管理棟1棟 137㎡、乳牛舎1棟 1,074㎡、肥育牛舎1棟 432㎡、育成牛舎2棟 1,271㎡、 ハーベストサイロ1基、わら庫1棟 202㎡、飼料敷料庫1棟 393㎡、家畜糞尿処理施設1棟 368㎡、 堆肥舎1棟 165㎡、飼料作物ほ場 575a 管理棟1棟 65㎡、システム豚舎1棟 393㎡、堆肥発酵施設1棟 222㎡、繁殖豚舎1棟 204㎡、 畜産雑排水処理施設 704㎡、ウインドゥレス成鶏舎1棟 162㎡、ウインドゥレス育雛舎1棟 93㎡、 モニター式開放鶏舎1棟 180㎡、鶏卵検査施設1棟 177㎡、鶏糞処理施設1棟 220㎡
研修用施設 農業機械施設	機械研修棟1棟 324㎡、機械教室1棟 143㎡、機械庫2棟 813㎡、作業機庫1棟 300㎡、 給油取扱所2棟 37㎡、運転管理室1棟 45㎡、運転コース1面 13,662㎡、トラクタ 15台、 作業機 37台等
生産物流通管理施設	1棟 680㎡

沿革



注(1) ※農事研究生制度(農事試験場内) (2) ※昭和19年愛知県農業技術員養成所と改称

学生募集に関する詳細は、愛知県立農業大学校教育部学務科(電話0564-51-1602)又は最寄りの農林水産事務所農業改良普及課へ問い合わせてください。

なお、募集案内等、出願に必要な書類の郵送を希望する人は、『学生募集案内希望』と朱書し、あて先明記の返信用封筒(24cm×33cm、郵便切手270円分を貼ったもの)を同封して愛知県立農業大学校に申し込んでください。

また、インターネットホームページにも掲載してあります。

農業大学公式HP

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



Instagram



所在地と交通案内

〒444-0802

岡崎市美合町字並松1-2

TEL 管理課(0564)51-1601

学務科(0564)51-1602

農学科(0534)51-1673

企画研修部(0564)51-1034

FAX (0564)51-4831

- 名鉄美合駅下車 徒歩約10分
- 東名岡崎インターチェンジから車で約10分
- JR岡崎駅下車 名鉄バス「東岡崎(緑丘経由)」か「市民病院(美合経由)」行きで「平地」下車 徒歩約5分

